



機を逃さない「決断力」 冷静な眼差しと情熱で大学を先導

写真：平山素也
文：奈良のりえ

今年4月に学長に就任する前から一貫して対応してきたのは「コロナ禍において学内感染は出さない」ということだ。一方で学内アンケートを取り、対面とオンラインとのメリット、デメリットを検証し「原則的には対面が望ましい」という決断を早期に下した。

放射線分野の出身であることから、テーマを持つて実験からデータを割り出し、考察することが常だった。根拠なるものを探し「決断」してきた。そんな柏倉学長であるからこそ決断のタイミングも機を逃さない。「やってみないと始まらない。間違ったら修正すればいいのだから」。

幼少の頃から自然が好きだった。キャリアを積む中で、秋田や福井など全国各地さまざまな風情のある地域で過ごすも群馬の自然が気に入ったのだという。「群馬の林道はほとんど車で走ったのでは」と明かすほど。

「色々なことを知りたい」と好奇心の塊で、興味を持ったら突き進む。そんな性格が後押しし、もともと文系だったが理系に転身した。

中学の頃、手にした文学全集から特に下

フトエフスキーやトルストイに惹かれた。人の心の動きに興味を持つようになったのは文学の影響があったのかもしれない。「好きなことはとことん追求したほうが良い」と学生に夢を描くことの大切さを説く。

「社会人として活躍できる学生を輩出したい。勉強だけでなく仲間とのコミュニケーションやリーダーシップも学んでほしい」と学生にエールを送る。内に秘めたる情熱を、敢えて強調するわけではないが人材育成への熱い思いを感じずにはいられない。

Profile 群馬県立県民健康科学大学 学長

かしくろ けんいち
柏倉 健一

1959年神奈川県横浜市生まれ。1983年慶應義塾大学法学部卒業。1995年 The Johns Hopkins University 修士課程修了。同年11月新技術事業団にて主任研究員。2001年3月博士（医学）東北大学。同年4月先端医療振興財団 特別主任研究員。2003年4月群馬県立医療短期大学教授。2005年群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部教授。2012年 同 地域連携センター センター長。2013年 同 診療放射線学部 学部長/研究科長2019年4月 同 附属図書館長。2021年4月 同 ss学長就任。専門分野は脳機能測定学。

